



女性医師参画-諸学会の取り組み

日本救急医学会 女性医師参画推進特別委員会
畝本恭子、岡田昌彦、木田真紀、木村昭夫、
角 由佳、本多ゆみえ、矢口有乃、田中 裕

女性(男女)医師参画推進の取り組み

- 厚生労働省
- 日本医師会 **1947(昭和22)年 (1916(大正5)年)**
 - 日本医師会女性医師支援センター
 - 日本医師会女性医師バンク(厚労省より受託)平成19年
 - 男女共同参画フォーラム (本年度で10回め)
 - 各地域の医師会
- 日本女医会 **1902(明治35)年設立**
 - 女性医師支援委員会、子育て支援委員会
 - 情報交換会 学術研究助成金
- 教育機関＝大学病院
 - 支援制度あり **92(国公)～86(私)%**
- 日本医学会
 - 分科会(各学会)ごとの対応
 - その他
- 各医療機関 など

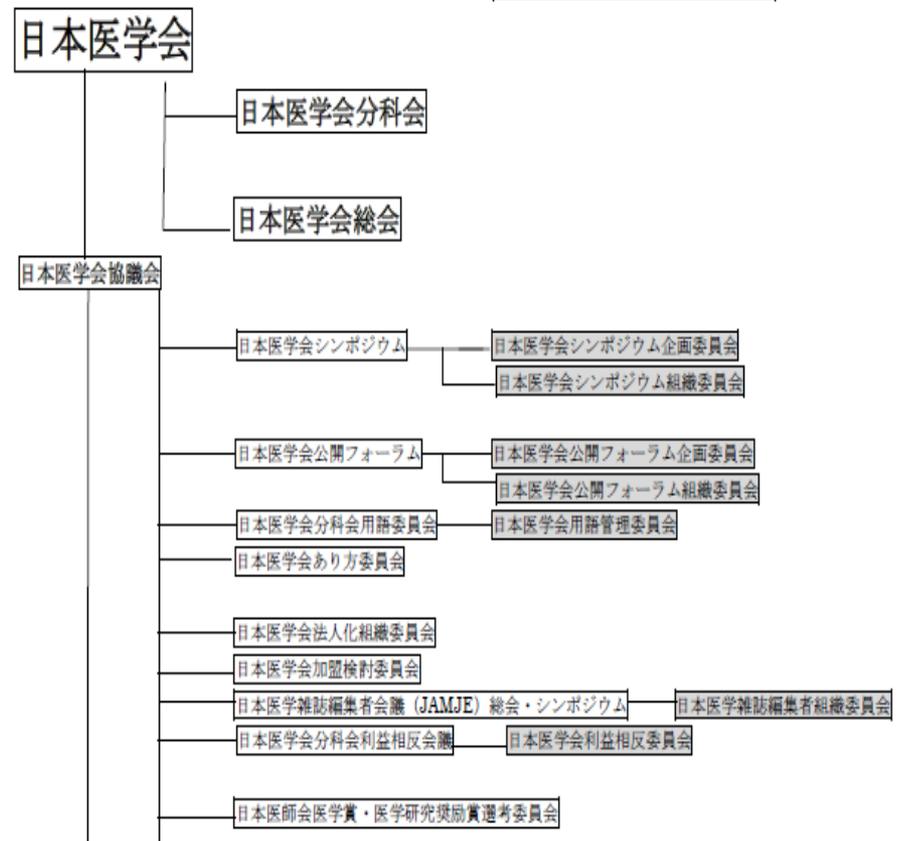
学会活動

- 学術面のキャリア形成に欠かせない。
 - 発表の機会⇒業績⇒専門医取得
 - 最新の知識の獲得
 - 症例報告における経験の共有
 - 各領域の標準的治療の確認
 - スキルアップや最新機器の情報
 - 他施設との交流の機会 等
- 一方で、家を空けにくい医師にとっては…
 - 日常診療と家のこと(育児、介護etc)で手一杯。
 - 学会参加のために遠方に出かけることが難しい。

日本医学会と分科会

○ 日本医学会: 1902(明治35年)設立

- ‘日本医師会と密接な連携
よび技術の研究促進を図り
に寄与する」ことを目的とし
- 日本医学会分科会: 122名
 - 加盟申請制、年1回審査



ア

- No.42 日本アレルギー学会
- No.90 日本医学教育学会
- No.32 日本医学放射線学会
- No.120 日本胃癌学会
- No.1 日本医史学会
- No.79 日本移植学会
- No.49 日本医真菌学会
- No.34 日本医療機器学会
- No.91 日本医療情報学会
- No.76 日本医療・病院管理学会
- No.44 日本ウイルス学会
- No.12 日本衛生学会
- No.37 日本衛生動物学会
- No.14 日本栄養・食糧学会
- No.92 日本疫学会
- No.15 日本温泉気候物理医学会

カ

- No.2 日本解剖学会
- No.43 日本化学療法学会
- No.72 日本核医学会
- No.27 日本眼科学会
- No.7 日本癌学会
- No.19 日本感染症学会
- No.62 日本肝臓学会
- No.78 日本癌治療学会
- No.112 日本緩和医療学会
- No.41 日本気管食道科学会
- No.10 日本寄生虫学会
- No.74 日本救急医学会
- No.52 日本矯正医学会
- No.46 日本胸部外科学会
- No.63 日本形成外科学会
- No.24 日本外科学会
- No.8 日本血液学会
- No.20 日本結核病学会
- No.105 日本血管外科学会
- No.104 日本血栓止血学会
- No.31 日本口腔科学会
- No.98 日本高血圧学会
- No.36 日本公衆衛生学会
- No.38 日本交通医学会
- No.57 日本呼吸器学会
- No.89 日本呼吸器外科学会
- No.108 日本呼吸器内視鏡学会

サ

- No.9 日本細菌学会
- No.26 日本産科婦人科学会
- No.40 日本産業衛生学会
- No.118 日本磁気共鳴医学会
- No.28 日本耳鼻咽喉科学会
- No.67 日本周産期・新生児医学会
- No.93 日本集中治療医学会
- No.22 日本循環器学会
- No.70 日本消化器外科学会
- No.77 日本消化器内視鏡学会
- No.21 日本消化器病学会
- No.18 日本小児科学会
- No.65 日本小児外科学会
- No.116 日本小児循環器学会
- No.88 日本小児神経学会
- No.80 日本職業・災害医学会
- No.83 日本自律神経学会
- No.53 日本神経学会
- No.96 日本神経病理学会
- No.68 日本人工臓器学会
- No.75 日本心身医学会
- No.58 日本腎臓学会
- No.81 日本心臓血管外科学会
- No.55 日本人類遺伝学会
- No.117 日本睡眠学会
- No.4 日本生化学会
- No.25 日本整形外科学会
- No.73 日本生殖医学会
- No.23 日本精神神経学会
- No.60 日本生体医工学会
- No.3 日本生理学会
- No.111 日本脊椎脊髄病学会
- No.61 日本先天異常学会
- No.121 日本造血細胞移植学会

タ

- No.84 日本大腸肛門病学会
- No.39 日本体力医学会
- No.85 日本超音波医学会
- No.110 日本手外科学会
- No.100 日本透析医学会
- No.51 日本糖尿病学会
- No.86 日本動脈硬化化学会
- No.87 日本東洋医学会

ナ

- No.17 日本内科学会
 - No.101 日本内視鏡外科学会
 - No.16 日本内分泌学会
 - No.102 日本乳癌学会
 - No.115 日本熱傷学会
 - No.64 日本熱帯医学会
 - No.47 日本脳神経外科学会
 - No.97 日本脳卒中学会
 - No.50 日本農村医学会
- ハ
- No.119 日本肺癌学会
 - No.35 日本ハンセン病学会
 - No.30 日本泌尿器科学会
 - No.29 日本皮膚科学会
 - No.103 日本肥満学会
 - No.6 日本病理学会
 - No.109 日本プライマリ・ケア連合学会
 - No.94 日本平滑筋学会
 - No.122 日本ペインクリニック学会
 - No.11 日本法医学会
 - No.113 日本放射線腫瘍学会
 - No.33 日本保険医学会
- マ
- No.45 日本麻酔科学会
 - No.66 日本脈管学会
 - No.13 日本民族衛生学会
 - No.69 日本免疫学会
- ヤ
- No.5 日本薬理学会
 - No.48 日本輸血・細胞治療学会
- ラ
- No.59 日本リウマチ学会
 - No.56 日本リハビリテーション医学会
 - No.71 日本臨床検査医学会
 - No.99 日本臨床細胞学会
 - No.107 日本臨床腫瘍学会
 - No.114 日本臨床スポーツ医学会
 - No.95 日本臨床薬理学会
 - No.82 日本リンパ網内系学会
 - No.106 日本レーザー医学会
 - No.54 日本老年医学会

各学会における女性医師参画への取り組みの状況

○ 日本外科学会女性外科医支援委員会 (現 男女共同参画委員会)

- 2009年
 - 2012年
- 日本医学会分科会所属学会にアンケート調査
- 分科会に所属する各学会における女性医師の
 - 会員数割合
 - 専門医割合
 - 委員・評議員等意思決定に係る役職の人数 など

各学会における取り組みの、詳細なデータに基づく報告書

引用許可を得て、抜粋し発表させていただきます。

学会の女性医師の割合(平均値)の推移

	2008年調査(n=105)	2011年調査(n=101)
会員医師中	14.6%	16.4%
入会医師中	23.5%	25.9%
評議員	6.0%	6.8%
役員	4.2%	3.4%

(n は回答学会数)

平成24年5月 日本外科学会女性外科医支援委員会
‘日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書’より抜粋

医学会における女性医師の割合(平均値)

	全体	外科系
会員医師中	16.4%	7.6%
2010年新入会者中	25.9%	16.1%
評議員	6.8%	1.0%
役員	3.4%	0%
専門医	14.0%	4.5%
認定医	11.8%	1.0%
全委員会委員	7.1%	1.4%

平成24年5月 日本外科学会女性外科医支援委員会
‘日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書’より抜粋

評議員・役員数

○ 評議員数の**20%**以上が女性の学会

- 日本産業衛生学会
- 日本医真菌学会
- 日本公衆衛生学会
- 日本心身医学会

の**4**学会

○ 役員数の**10%**以上が女性の学会

- 日本小児神経学会
- 日本先天異常学会
- 日本生理学会
- 日本寄生虫学会
- 日本公衆衛生学会
- 日本産業衛生学会

平成24年5月

日本外科学会女性外科医支援委員会
‘日本医学会分科会における女性医師支援
の現況に関する調査報告書’より抜粋

ほか、全**10**学会



評議員・役員数

● 外科系学会の女性評議員数

日本小児外科学会	17人
日本形成外科学会	4人
日本内視鏡外科学会	3人
日本脳神経外科学会	2人
日本心臓血管外科学会	2人
日本手外科学会	1人
日本外科学会	1人
日本胸部外科学会	1人
日本呼吸器外科学会	1人

● 外科系学会の女性役員数 0人

平成24年5月 日本外科学会女性外科医支援委員会

‘日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書’より抜粋

日本救急医学会の女性医師構成

	全会員	女性医師	女性%
所属会員数	10679	1144	10.8%
専門医	3840	285	7.5%
指導医	564	11	1.9%
評議員	270	7	2.5%



学会委員会における女性委員の割合

	全体		外科系	
学会誌編集委員(和文)	6.3%	(88)	0%	(9)
学会誌編集委員(英文)	4.4%	(52)	0%	(6)
認定医専門委員	6.2%	(70)	0.2%	(11)
倫理委員	11.8%	(70)	5.8%	(65)
生涯教育委員	8.1%	(65)	0%	(10)
男女共同参画関連委員	59.6%	(24)	32.4%	(4)

()内は回答学会数

平成24年5月 日本外科学会女性外科医支援委員会

‘日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書’より抜粋

男女共同参画・女性医師関連委員

- 外科系以外 20学会
- 外科系 4学会
 - 日本外科学会 8名
 - 日本心臓血管外科学会 4名
 - 日本胸部外科学会 2名
 - 日本脳神経外科学会 1名

平成24年5月 日本外科学会女性外科医支援委員会

‘日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書’より抜粋

男女共同参画・女性医師関連下部委員会

1. 日本アレルギー学会女性医師支援委員会
2. 日本解剖学会男女共同参画推進委員会
3. 日本肝臓学会男女共同参画委員会
4. 日本胸部外科学会処遇改善委員会
5. 日本形成外科学会女性医師支援ワーキンググループ
6. 日本外科学会女性外科医支援委員会
7. 日本呼吸器学会呼吸器診療に携わる女性医師増加策の検討ワーキンググループ
8. 日本産科婦人科学会学会内に男女共同参画・女性の健康週間委員会設置
9. 日本循環器学会男女共同参画委員会
10. 日本消化器病学会女性消化器医師支援委員会
11. 日本小児科学会女性医師の職域での環境改善プロジェクト
12. 日本心臓血管外科学会女性医師支援委員会
13. 日本生理学会男女共同参画推進委員会
14. 日本透析医学会男女共同参画小委員会
15. 日本内科学会女性委員会
16. 日本内分泌学会女性医師専門医育成・再教育委員会
17. 日本皮膚科学会皮膚科の女性医師を考える
18. 日本病理学会男女共同参画委員会
19. 日本薬理学会研究推進委員会が女性会員アンケートを行うのに専念する委員会
20. 日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科女性専門医ネットワーク委員会 (RJN委員会)

学術集会中の特別企画等
約25%の学会で
行われている

平成24年5月 日本外科学会女性外科医支援委員会
‘日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書’より抜粋

女性医師(男女)参画小委員会ほか

○ 小委員会扱いの下部組織名

1. 日本腎臓学会男女共同参画委員会
2. 日本乳癌学会労働問題小委員会
3. 日本脳神経外科学会日本脳神経外科女医会
4. 日本泌尿器科学会女性泌尿器科医の会

○ 外部支援団体の有無:101学会中6学会から、ある、と回答

学会名	支援外部団体名
日本アレルギー学会	
日本眼科学会	男女共同参画推進委員会
日本胸部外科学会	日本胸部外科女性医師の会
日本外科学会	日本女性外科医会
日本消化器病学会	日本消化器病学女性医師・研究者の会
日本腎臓学会	日本女性腎臓医の会

平成24年5月 日本外科学会女性外科医支援委員会

‘日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書’より抜粋

専門医(認定医)について

○ 専門医制度のある学会

- 分科会全体 回答105学会中、70学会 67%
- 外科系 回答12学会中、11学会 92%

○ 専門医更新期間延長がある学会

- 分科会全体 延長あり=90% うち留保条件あり 86%
- 外科系 延長あり=91% うち留保条件あり 100%

平成24年5月 日本外科学会女性外科医支援委員会

‘日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書’より抜粋

専門医更新延長の留保条件における 家庭の状況への配慮

図5-1 学会全体(留保条件があると答えた学会) (n = 54)

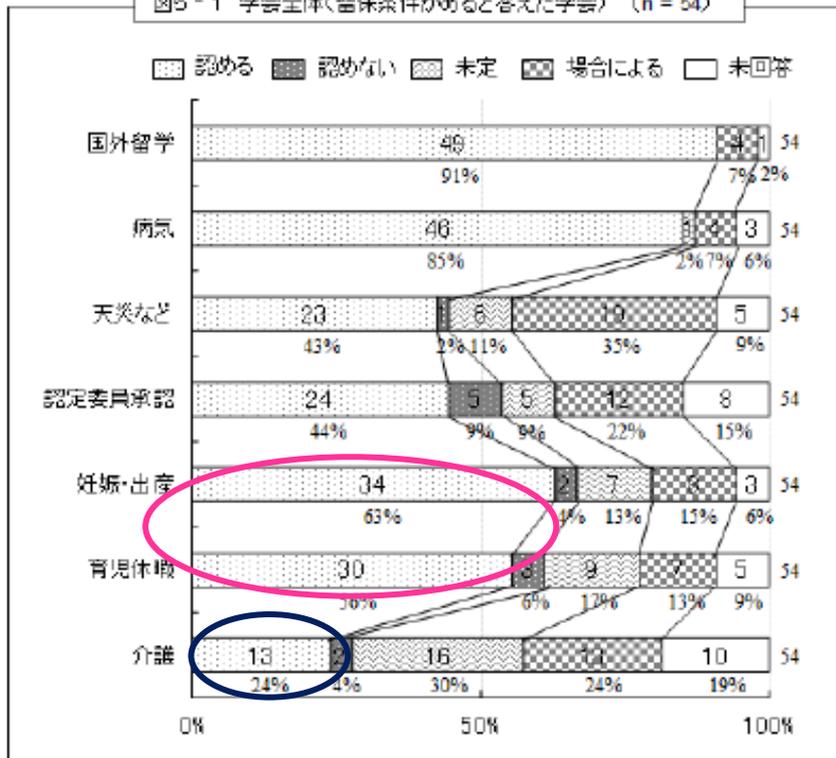
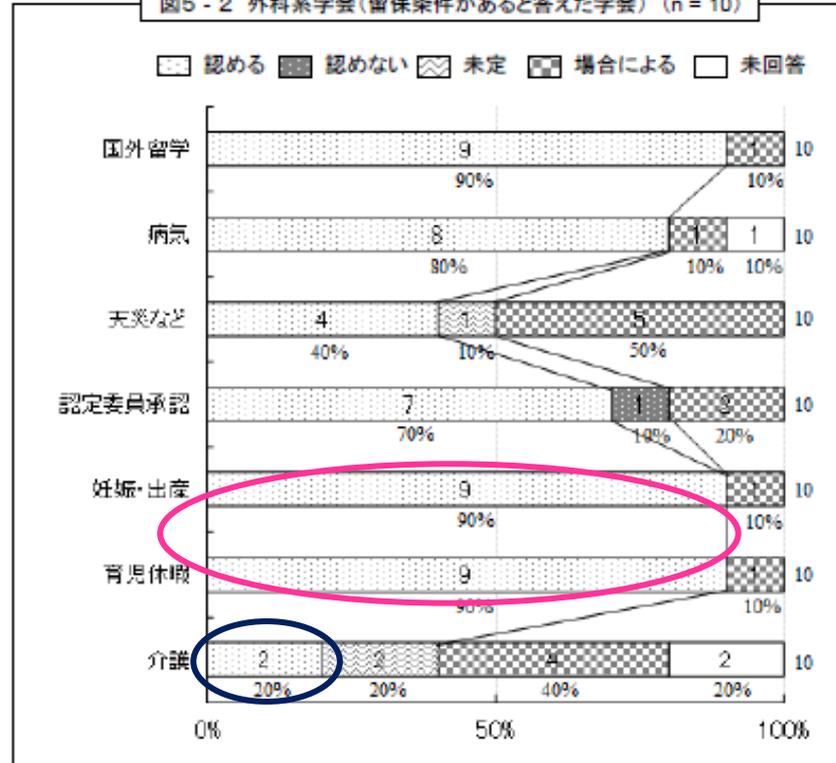


図5-2 外科系学会(留保条件があると答えた学会) (n = 10)



日本救急医学会における専門医更新細則

第18条 専門医の更新に当たり、特別の理由により 5年間で総得点150点に満たない者は、有効期間満了年の申請期間に、第16条に定める申請書類及び次の各項に定める書類の正本各1通及び副本各11通を、別に定める申請手数料とともに、専門医認定委員会に提出しなければならない。

1. 専門医更新猶予申請書（書式自由）
2. 更新猶予申請理由を証明するもの

第19条 前条により、更新猶予が認められた者は、有効期間満了年の2年後の申請期間に、細則第6章第16条に定める手続きをとらなければならない。なお、その際提出する業績目録は、専門医資格取得年の前年の4月1日から 7年間で総得点210点以上の業績を記載 しなければならない。そのうち少なくとも140点は日本救急医学会総会、日本救急医学会地方会及び日本救急医学会専門医セミナーにおいて取得しなければならない。（ただし、総会出席の点数を含めること。）

この場合の更新後の専門医資格有効期間は、3年間とする。次の更新に関しては、有効期間3年間で総得点150点以上の業績を記載しなければならない。

女性医師支援のための学会としてのアクション

- 学術集会中の託児室の設置
- アンケートによる現状調査
- 女性医師支援に関する委員会、ワーキンググループなど
- 専門医取得に要する教育期間の見直し
- 専門医更新:資格期間の延長などの猶予に、出産育児の条項追加
- 復職支援:再教育支援、相談係の設置
- メーリングリストで意見交換
- 女性役員の登用
- 女子医学生、研修医へのエンカレッジ企画

まとめ

- 医学会分科会においても
 1. それぞれの学会で、少しずつ整備されつつあるが…
 2. 女性(男女)参画推進を担当する委員会等を設けている学会は2割程度
 3. 学会運営上の意思決定に関わる女性医師数(特に役員)はまだ稀少
 4. 現行の学会主導の専門医制度において、更新(取得も)に関する妊娠・出産支援は徐々に進められているが、まだ十分ではない。